

清流の国ぎふ
2020 地歌舞伎
勢揃い公演 七月

東野歌舞伎保存会（恵那市）

地歌舞伎が盛んな東濃地域の中でも、恵那市東野ではかなり古くから地歌舞伎が演じられていたと言われています。嘉永六年（一八五三年）に東野の八坂神社隣に建設された歌舞伎小屋「恵東座」では、地域唯一の娯楽として盛んに地歌舞伎が上演されてきました。しかし、高度経済成長期に入ると役者が激減し、活動が衰退します。昭和四十九年には、ついに「恵東座」も取り壊されてしまいました。

その後、芝居の熱が再燃し、平成三年に、地域の有志で東野歌舞伎保存会を結成し、現在は毎年十月の第四日曜日に公演を開催しています。

公演会場となる東野小学校体育館には、花道付きの舞台や「恵東座」時代の引幕を設置します。また、同公演は東野の地歌舞伎の保存・継承活動の後継者でもある東野小学校子ども歌舞伎クラブの活動成果を発表する場にもなっています。

今後も伝統文化である地歌舞伎を次世代に継承できるよう、保存会一同頑張っています。



新型コロナウイルス感染予防対策について

安心して参加いただくために、皆様のご協力をお願いします。

- ・発熱や風邪症状のある方は、参加をお控えください
- ・マスク着用の厳守（マスク非着用の方はご入場できません）
- ・手指消毒及び検温の実施（37.5℃以上の方はご入場できません）
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・出演者への声援や歌唱、入り待ち、出待ちの禁止
- ・公演中のおひねり、大向こうの禁止

※「岐阜県感染警戒QRシステム」の登録をお願いします。
ご登録をいただきますと、感染者が発生した場合、同じ日に来訪された方にメールでお知らせいたします。

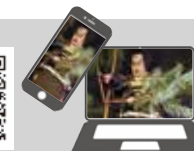
スタンプラリー実施中



開催期間中、1公演ご鑑賞ごとにスタンプが1つたまります。スタンプ数に応じて素敵なグッズをプレゼント！
※無観客開催の動画をご覧になった方はお申し出ください。

ぎふ清流文化プラザ
YouTubeチャンネル

本公演の様子を収録し、後日配信します。



地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演 七月

2021年7月11日（日）

◆開演 14時00分（開場13時00分）

◆会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

◆上演外題・出演

14時00分（80分）

奥州安達原 三段目 環宮明御殿の場

東野歌舞伎保存会（恵那市）

◆15時20分（20分）

特別インタビュー

「役者の素顔に迫る」

葛西聖司氏が役者の裏話や、地歌舞伎への熱い思いをお聞きます。貴重な機会をぜひお楽しみください。

◆終演 15時40分（予定） 演目は変更となる場合があります。



イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、分かりやすく解説します。



古典芸能解説者 葛西 聖司氏

スタンプラリー実施中

開催期間中、1公演ご鑑賞ごとにスタンプが1つたまります。スタンプ数に応じて素敵なグッズをプレゼント！
※本札を忘れずにお持ちください。



主催／岐阜県・（公財）岐阜県教育文化財団
協力／岐阜県地歌舞伎保存振興協議会
令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
ねりんピック岐阜2021応援事業



奥州安達原 三段目 環宮明御殿の場

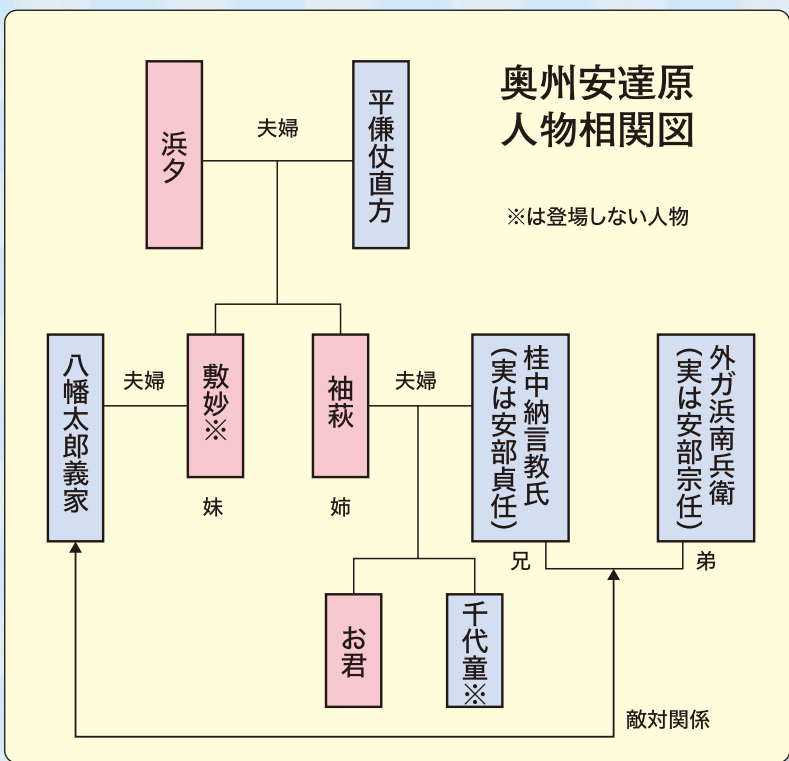
東野歌舞伎保存会（恵那市）

袖萩は、父平廉仗直方に背き、家を出て、安部貞任と夫婦となります。その夫は朝廷に反逆を企て行方知らずとなり、袖萩は、己の罪に目を泣き潰し盲目となります。

父が重大な落度で罪に問われていると聞いた袖萩は、様子が知りたいと雪の中を娘のお君に手を引かれ、父のいる御殿に辿り着きますが、勘当をされている身では中に入る事も出来ません。袖萩の母浜夕は娘と知りつつ、わざと乞食扱いをして祭文（歌）を歌わせ、袖萩は、切ない身の上を弾き語ります。

実は、貞任・宗任兄弟は、直方を切腹させる企みをしており、弟宗任は袖萩に安部一族の敵である直方の首を討てと迫ります。懐剣を持たされた袖萩は、自害を決意し、父と同時に切腹して果ててしまいます。

袖萩の妹の夫八幡太郎義家は、直方の切腹を見届けに来た中納言が実は安部貞任であり、直方を切腹させたのも貞任の企みであった事を見破ります。正体がばれた貞任は、公家姿から荒夷の武士へと一転し、宗任と共に義家に戦いを挑みますが、義家はお君を引取り、後日の勝負を約束して別れます。



振付指導	協力
中村 高女	
青木 喜久次	
竹本 美芳	
豊澤 順八	
杵屋 喜鶴	
杵屋 神威	
住田 喜久次	
鳳川 辰次	
小野崎 隆賢	
市川 紫女升	
林 まゆみ	
小川 厚子	
中津川 衣裳	



◆配役

桂中納言教氏（実は安部貞任） 千藤 尚代
袖萩 足立 伊公子

お君 伊藤 蘭（小学六年生）

平廉仗直方 小泉 陽一

浜夕 小栗 千津子

八幡太郎義家 千藤 真理子

外方浜南兵衛（実は安部宗任） 桐山 智子

腰元 一 置名 愛

仕丁 一 伊藤 蓮美（大学生）

〃 二 置名 愛

〃 二 伊藤 蓮美（大学生）

イヤホン同時解説

葛西 聖司氏

東京都出身。古典芸能解説者。NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオで様々な番組を担当してきた。現在は、歌舞伎や能狂言など古典芸能の解説や講演、また日本伝統文化のセミナーを全国で開催している。「教養として学んでおきたい能・狂言」「僕らの歌舞伎」「文楽のツボ」ほか著書多数。

